

日 時：平成22年12月3日（金）10：20～11：10
 場 所：中学部○年○組教室
 指導者：(T1)、(T2)、(T3)、(T4)

1 単元名「プレゼント大作戦」 ～おかしを作ろう～

2 目 標

- (1)活動内容やプレゼントする相手が分かり、プレゼントすることを期待して、調理や製作活動をする。
- (2)調理や製作活動を友達と一緒にするなかで、自分の気持ち（依頼や要求）の伝え方を覚えたり、表情や行動などで応じたりする。
- (3)使う道具や調理器具、材料などの名称を覚え、自分で準備したり、友達と貸し借りをしたりする。

3 生徒と単元

(1)生徒について

本学年は男子4名、女子2名の計6名で構成されている。本校小学部から4名、地域の小学校から2名が進学してきた。日常的な会話を楽しむことができる生徒から、発語はないが簡単な指示を理解して行動ができる生徒まで多様な実態である。平仮名を読むことができる生徒が2名いるが、ほとんどの生徒は写真や実物を利用して情報を理解できることが多い。

昨年度から学年合同授業で一緒に活動する場面を多く設定してきたことで、名前を呼んだり、活動が遅れているときには手伝おうとしたりとお互いを意識して活動する様子が見られるようになってきた。しかし、名前を呼びかけず急に手を出して手伝おうとしたり、相手の反応を待たずに一方的な関わりになったり、相手に伝わるような表現方法が定着していない場面が多く見られる。

調理については今年度カレー作りを行った。そのときに、中学部の教師に食べてもらい「おいしい」と言われたことで、周りの人に喜んでもらううれしさや自分の頑張りを認められた満足感を味わうことができた。また、秋に収穫したさつまいもを教室の床に並べて乾燥させていることで、さつまいもを気にする様子や「さつまいもは？」と今後どうするか気にかけて教師に問いかける姿が見られる。

(2)単元について

昨年度から畑で採れた野菜を使った調理活動に取り組んでいる。本単元で取り上げるお菓子作りは、昨年度もみんなで協力しながら行い、楽しかったという感想が聞かれたものである。また、お菓子を家族にプレゼントして喜ばれた経験もあり、大好きな教師や友達にプレゼントして一緒に食べるという目的をもつことで、相手の喜ぶ姿を想像したり、意欲をもって活動に向かったりすることができるのではないかと考える。さらに、一緒に食べることで喜びを共有し、自分の活動への満足感や人に認められる喜びを感じたり、次回の製作に向けて意欲を高めたり、自己有用感につなげたりできるのではないかと考える。

また、プレゼントにあたっては、お店を見学したり、市販の商品を参考にしたりして、作る物を自分たちで考えることで、自分たちで作っているという気持ちもち、より意欲的に活動に向かえるのではないかと考える。

お菓子作りやプレゼントの準備は、様々な工程を含んでいる。お菓子作りでは材料を潰したり、混ぜたり、生地を練ったりする。また、プレゼントの準備では、紙を切ったり、シールを貼ったり色を塗ったりするなど、個々の生徒の得意な活動を生かして協力して活動することができる。しかも、一人で製作することは難しいが、友達と協力して活動することで、完成させる喜びを味わうことができる。協力して製作する課程には、道具や材料を自分で準備したり、友達と道具をやりとりしたりする場面が設定できる。そのような活動の中で、身近な道具の名称を覚えたり、友達と共有して使ったりすることができるのではないかと考える。

さらに、協力して製作するためには自分の気持ちを伝えたり、相手の要求に応じたりする必要がある。伝える相手を思いやり、名前を呼んでから依頼や要求を伝えたり、適切な声量で話したり、相手の肩をトントンとたたいてから話したりすることは相手と望ましい関わりをもつ上で身に付けてほしい力である。自分の好きな相手にお菓子を作ってプレゼントする一連の活動を通して、自分の気持ちの伝え方を覚えたり、相手の依頼や要求に表情や行動で応じたりすることができるようになるのではないかと考え、本単元を設定した。

(3) 指導にあたって

「わかる」姿を引き出すために

【めあてがわかる】	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントする相手を意識できるように、授業の導入時にプレゼントする相手の顔写真を選んだり、掲示したりする場面を設定する。 ・本時のめあてを意識できるように、顔写真入りの*ストーリーカードで本時の頑張ることを伝える。
【活動内容がわかる】	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に見通しをもてるように、初めに完成品などの見本を提示したり、活動時は、すぐに見える場所に置いておいたりする。 ・本時の活動に見通しをもてるように、活動量を表で提示したり、具体物を操作したりして活動の終了が分かるようにする。
【学習したことがわかる】	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の頑張ったことを友達に伝えたり、友達の頑張りを認めたりできるように、授業のまとめの際に、今日の頑張りを発表する時間を設ける。 ・友達との関わり方やプレゼントする様子を振り返られるように、実際の様子をビデオで撮影し、相手の表情や言葉遣いに注意しながら見られるようにする。 ・前時の学習を思い出せるように、授業の導入時に前時の活動を*ストーリーカードで提示し、頑張ったことを質問する。

*ストーリーカード：本単元の流れを生徒たちが登場する一連のストーリーとして絵や顔写真を使って作ったカード

4 指導計画 (総時数33時間 本時28/33)

題材名・小単元名など	活動内容	主なねらい	時数
収穫しよう、さつまいも	<ul style="list-style-type: none"> 畑の作物を収穫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達や教師と一緒にさつまいも掘りをし、収穫する喜びを味わう。 	2時間
さつまいもで何を作ろう？	<ul style="list-style-type: none"> さつまいもを収穫したことを振り返り、さつまいもで何をするのか考える。 誰にプレゼントするか考える。 さつまいもを使ったお菓子を考える。 さつまいもを使ったお菓子の作り方を教師に聞く。 さつまいもを使ったお菓子の手順表を作る。 友達とおそろいのグッズを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> さつまいもの使い方を考えたり、メニューを決めたりする。 中学部の生徒や教師などの中から、プレゼントしたい人を決め、その相手に伝える。 教師の手本を参考に、言葉やうなずきなど望ましい伝え方で意見や気持ちを伝える。 パティシエ役の教師の演示を見て、お菓子の作り方を知る。 パティシエ役の教師の手順を参考に、写真を並べ替えて手順表を作る。 友達とおそろいのグッズを考えることで、みんなで協力して作る気持ちをもつ。 	7時間
プレゼント大作戦Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> 調理器具を確認する。 さつまいもを使ったお菓子を作る。 自分が選んだ相手にプレゼントして、一緒に食べて感想を聞く。 次回の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真などを貼った手順表を基に、自分が使う調理器具や材料を確認する。 お菓子作りの手順表を手掛かりに調理する。 言葉や動作を交えて、プレゼントしたい相手にお菓子を渡す。 調理で教師の問いかけに応じて、言葉やうなずきなど望ましい伝え方で意見や気持ちを伝える。 プレゼントしている様子のビデオを見ながら振り返り、プレゼントするときに必要なものなどを考え、次回の計画を立てる。 	4時間
プレゼント大作戦Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> プレゼントする相手を決める。 プレゼントするのに必要なものを決める。 プリントゴッコなどを使いメッセージカードを作る。 お菓子を入れる箱を飾る。 材料を購入する計画を立てる。 材料を購入する。(校外学習) 似顔絵カードやクッキーの小袋用のシールを作る。 さつまいもを使ったお菓子を作る。 お菓子をラッピングする。 自分が選んだ相手にプレゼントして、一緒に食べて感想を聞く。 活動を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学部の生徒や教師などの中から、プレゼントしたい人を決め、その相手に伝えるように伝える。 プレゼント大作戦Ⅰのプレゼントの仕方と、誕生日やクリスマスプレゼントと比べて、相手が喜ぶプレゼントの仕方を選ぶ。 自分の担当する活動が分かり、メッセージカードを作る。 話し合い活動や製作活動で相手に応じた伝え方を覚えて、依頼や協力したいことを伝える。 プレゼントする相手が分かり、相手の似顔絵を描いたり、相手の好きな色のシールを貼る。 お出かけブックやお出かけマップを手掛かりに、材料の購入先を決める。*1 メモや写真などを手掛かりに、自分が担当している材料を買う。 プレゼントをする相手の数を確認しながら、似顔絵カードやシールを作る。 相手の目の前に移動してから名前や用件を伝えたり、友達の呼びかけに応じて顔を向けたりする。 お菓子作りの手順表を手掛かりに、自分の担当を確認しながら調理をする。 調理やラッピングのときに相手に応じた伝え方を覚えて、依頼や協力したいことを伝える場面で使う。 教師のヒントを手掛かりに、相手が喜ぶような言葉や態度で自分が決めた人にプレゼントする。 ビデオや写真で活動を振り返り、楽しかったことやうれしかったことを発表し合う。 	20時間 (本時15/20)

*1 「お出かけブック」と「お出かけマップ」は「飛びだせ！〇〇市へ」で用いている自作の本市地図。

5 個別の指導計画と単元における生徒の実態

児童・生徒氏名	年間目標（個別指）	短期目標（個別指）	単元における実態	単元における目標
<p>A (2年 男)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 写真や具体物を手掛かりに、自分の活動が分かり、自分から活動に向かう。 望ましい伝え方を覚えて、使う。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼントする相手が分かり、自分から活動に向かう。 相手を意識して、名前を呼んでから関わり、報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちが崩れると、活動に向かうことが難しいときがあるが、教師や友達の言葉がけに応じて戻ってくるができる。 突然肩に触れたり、顔を近づけたりして驚かせてしまうことが多いが、友達のことが気になり積極的に関わろうとする姿が見られる。 調理では、使ったことのある道具や自分が選んだ材料の名称は覚えていることが多く、自分で冷蔵庫などから探して持ってくることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼントする相手を意識して、なぞり書きやこねるなど得意な活動に自分から向かう。 相手を驚かさないう、名前を呼んでから関わろうとする。 自分の活動に必要な道具や材料の名称が分かり、自分で準備する。
<p>B (2年 女)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容や手順を理解し、自分から調理や製作活動を行う。 自分の気持ちを単語で伝えたり、友達と協力したりしながら活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 手順や担当工程に沿って、自分で物の準備や調理・製作活動を行う。 友達や教師の言葉がけに応じて、友達と協力して学習活動を行ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな友達や教師とかかわる場面が多い活動では、自分から名前を呼んだり、返事をしたりなど意欲的に活動することができる。 「うん」「うん」「いらない」などの言葉や身ぶりで自分の気持ちを教師に伝えることができる。 知っている道具や材料を見て名称の一部を声に出したり、写真などを手掛かりに道具や材料の準備を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼントする相手が分かり、顔写真の中から選択することができる。 自分の気持ちを身振りや言葉での返事などで友達に伝えたり、友達の言葉がけに応じて一緒に活動したりする。 自分の使うものが分かり、写真カードを見て道具や材料の準備をする。
<p>C (2年 男)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手に喜ばれるポイントが分かり、自分から活動に向かう。 グループのリーダーとして、友達をリードしながら活動を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼントする相手を意識して、友達の意見や様子を参考に調理や製作活動を行う。 相手に伝わる話し方や誘い方が分かり、実際の場面で使う。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕上がり雑なところも見られるが、指示を理解して活動することができる。 友達の分担が進まないときには、自分でやるとうとすることもあるが、活動表を見ることで、自分の役割を理解して活動することができる。 調理や製作活動では、見たり、使ったりしたことのある材料や道具の名称を知っていて、必要な道具などが近くにないときでも探そうとする姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼントする相手が喜ぶようなデザインを考えたり、丁寧に作ったりする。 教師の言葉がけを手掛かりに、友達に「一緒にやろう」と言葉をかけてから手伝う。 友達が要求する道具の名称が分かり、道具を渡したり、「○○さん△△を貸して下さい。」と伝えてから借りたりする。

<p>D (2年 男)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された写真などを見て、学習する内容や活動の順番が分かり、調理や製作活動をする。 ・用具の準備や片付けに自分や友達と一緒に取り掛かり、最後まで活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真カードや具体物を見て、これからの学習が分かり、自分のグループへの移動や活動の選択をする。 ・必要な用具を自分であるいは友達と協力して準備したり、使った用具を最後まで片付けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、学習活動についておおよその見当をもち、落ち着いて学習できるようになってきている。 ・片付けるときには、友達に言葉をかけて使った物を一緒に運べるようになってきている。 ・これまでに調理でよく使った用具を覚えていて、写真や実物を手掛かりにして準備できるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントする相手が分かり、調理の準備に取り掛かったり、決められた分の個数のラッピングなどをしたりする。 ・名前を呼んだり、「一緒にやろう」と言葉をかけ、洗う、拭くなどの活動をする。 ・写真を見て、使う用具や名称が分かり、自分で準備したり、友達との貸し借りをしたりする。
<p>E (2年 女)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の支援を受けながら、いろいろな素材に触れたり、道具を使用したりする。 ・友達を意識しながら、みんなと一緒に活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理や製作活動では、実物を見たり、触れたりしながら自分の担当を選んだり、活動したりする。 ・友達に必要な道具や材料を配ったり、友達の呼びかけに応えたりして一緒に活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から希望や意思を積極的に周りに伝えることは難しいが、自分の写真や家族の写真を見ると笑顔になり、写真に手を伸ばすことがある。 ・同じ学年の友達に名前を呼ばれると、声のした方を見たり、友達のいる方に走っていったりすることがある。 ・ピーラーの様に比較的軽く、持ちやすい物は自分で握って持つことができる。また、写真を注視して、使う用具に気付き、教師と一緒に準備することが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2枚の写真の中からプレゼントする相手を選び、写真を見てプレゼントする相手を意識しながら活動する。 ・友達からの言葉がけを受けたり、写真カードを手掛かりにしたりして道具や材料を教師と一緒に準備し、友達と一緒に活動する。 ・友達の呼びかけに応じて、歩いていたり、教師と一緒に渡したりして用具の貸し借りをする。
<p>F (2年 男)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話聞いて、活動内容が分かり、準備や片付けを自分で判断して取りかかる。 ・教師や友達と分担して片付けたり、自分の調理の役割を選んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話聞いて学習に見通しをもち、活動内容に関する質問に対しておおむね正しく答える。 ・「お願いします」などと言ったりして友達と物を一緒に運んだり、自分の希望を教師などに伝えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師などの顔を注目して話を聞けるようになってきており、教師の質問にも正しく答えられるようになってきている。 ・誘いがない場合には、立っている状態のときもあるが、誘いに応じて、一緒に活動することができる。 ・写真や文字などの表示を見て、使う用具を自分で準備するようになってきた。用具の貸し借りでは、安全に引き渡すための事前の確認が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントする相手の顔写真や教師の話、手順表を手掛かりにして、何をやるかが分かり、準備したり、速やかに移動したりして活動をする。 ・自分から友達の名前を呼んだり、「お願いします」と言ったりして、協力して活動する。 ・用具を自分で準備をしたり、安全に留意して用具の貸し借りをしたりする。

6 本時の計画
(1) 本時の目標及び展開

*生徒の目標と指導上の留意点について、**わかる姿**を_____で表す。

本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の活動やプレゼントする相手分かり、似顔絵カードやシールを作る。 相手に伝わりやすいように、相手の目の前に移動してから名前を呼び、用件を伝えたり、友達の呼びかけに応じて顔を向けたりして関わる。
-------	--

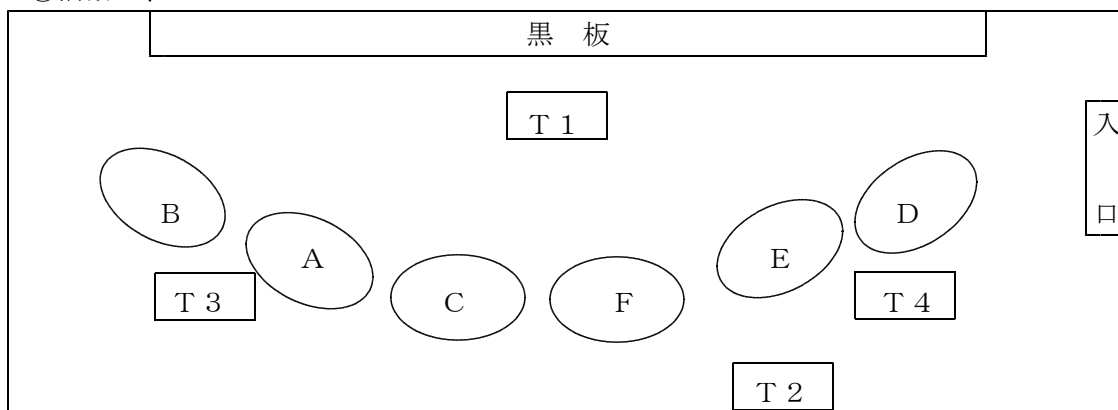
関連単元の評価 プレゼント大作戦 ～お菓子を作ろう～ 11月17日	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の活動が分かって、メッセージカードを作り、時間いっぱい取り組んだり、目標の枚数を完成させたりすることができた。 ▲導入の精選と個に応じた活動量の設定、発表の仕方や配置について改善が必要である。
--	--

本時の個別目標	A	B	C	D	E	F
	<ul style="list-style-type: none"> チェックシートの中の色<small>が</small>分かり、プリントゴッコにセットした似顔絵カードと同じ色の場所にシールを貼る。 Bの前まで移動して、立ったまま名前を呼んで用件を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントゴッコを押すこと<small>が</small>分かり、教師の言葉に合せて力を入れて押す。 友達から「Bさんできたよ」と言葉をかけられたら、うなずいたり、「はい」と声を出したりして返事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰にプレゼントするものなの<small>か</small>分かり、印刷した用紙を相手の顔写真の下に乾かす。 友達が用件を伝えられなかったときには、「どうしたの」と言葉をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でプリントゴッコに用紙をセットしたり、1回ごとに印刷の仕事を交替したりする。 「Eさん、代わるよ」と伝えてから友達と仕事を交替する。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントゴッコの取っ手をつかんで下ろし、音楽が鳴るように押す。 友達から「Eさん」と呼ばれたら、友達の方に顔を向けたり、箆を持って歩いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 手順表を手掛かりに、3つの活動をする。 「Eさんこっちはだよ」となるべく自分から呼びかけることができる。

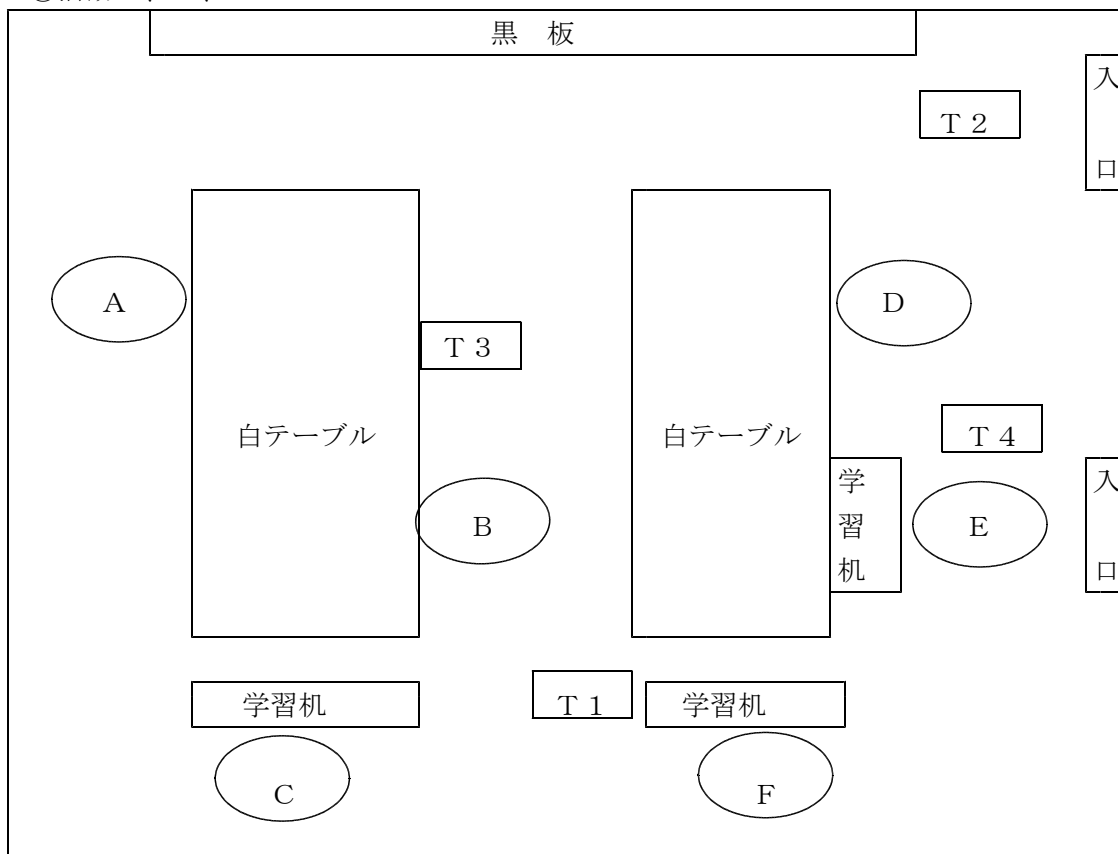
時間	学習活動	指導上の留意点*間接的支援(物理的支援)は間、直接的支援(教師の動き)は直で表す。						準備物
5分	1 あいさつをする	<p>間 仲間意識をもてるように、授業開始前にEがT4と一緒に全員にプレゼント大作戦のバンダナを配る。</p> <p>直 一緒に活動する気持ちを高められるように、T1は合言葉担当の生徒を呼び、Aが前に出て合図することで、全員で「プレゼント大作戦」と合言葉をコールする場を設定する。</p> <p>直 できる限り自分の力で活動できるように、T2は活動を見守る。学習に集中することが難しい生徒にはそばにつき、T1の話をつかりやすく説明したり、一緒に活動に向かったりする。</p>						単元名カード
5分	2 本時の学習内容を確認する。 (1) 本時の目標と流れを確認する。 (2) 前時良かった関わりをポイントとして振り返る。	<p>直 プレゼントまでの流れが分かるように、ストーリーカードを提示して、これまでの学習活動を振り返る。授業への意欲を高められるように、希望する生徒にストーリーカードの内容紹介を依頼する。</p> <p>直 本時の活動内容が分かるように、本時の流れのストーリーカードを用意して説明したり、準備物一覧表を提示して準備状況を確認する。</p> <p>直 目標を意識できるように、完成見本の箱を提示する。また、6個作ることが分かるように、Fにプレゼントする相手の写真を提示して、人数を数えるよう伝える。</p> <p>直 自分の活動を意識できるように、T1は使う道具の写真を提示して、生徒に「この活動は誰かな」と聞き、個別に活動内容を確認する。</p> <p>直 良い関わり方が身に付くように、前時良かった関わり方を吹き出し付きの写真で振り返る。</p> <p>間 関わる時のポイントをみて確認できるように、関わる時の約束を教室内に掲示しておく。</p>						本時の流れカード 箱の完成見本 ストーリーカード*1 プレゼント相手の写真*3
30分	3 似顔絵カードとシールを2つのグループに分かれて制作する。 (1班~A、B、C) (2班~D、E、F) (1) 準備する。 (2) カードの用紙を適切な大きさに切る。(C、F) (3) 前時完成した似顔絵カードに、シールを貼る。(A) (4) プリントゴッコにカードやシールをセットする。(A、D) (5) プリントゴッコで印刷する。(B、EとD(交代)) (6) 印刷されたカードを取り出し、箆に入れる。(A、D) (7) 箆を持って、次の担当者のところまで運ぶ。(B、E) (8) 前時印刷した用紙をハサミで切る。(C、F) (9) 片付けをする。	<p>直 自分たちで活動場所の準備ができるように、T3とT4が白テーブルを設置する場所に立ち、T1がそれぞれのTの位置に「友達と一緒に運んでね」と伝える。</p> <p>間 生徒同士で準備できるように、道具を入れておくカラーボックスを固定して、生徒の顔写真や名前を貼る。</p> <p>直 望ましい伝え方ができるように、不適切な伝え方があったときは、教師が望ましい伝え方を示し、一緒に話してみる。</p> <p>間 生徒同士が何度も関わることをできるように、必要な枚数より多くの似顔絵カードやシールを制作する。また、1~2枚ごとに次の友達に渡す機会を設定する。</p> <p>直 今日のためあてを意識できるように、好きな演歌歌手の写真がついたキャップを印刷する数と同じ8個用意し、一枚印刷する毎に、箆から移動することを事前に伝える。</p> <p>直 今日のためあてを意識できるように、プリントゴッコを押せるように、プリントゴッコに好きな演歌歌手の写真を作り、T3は「ふたばゆりこ」の言葉と一緒に押す身振りを示す。</p> <p>間 自分から名前を呼ぶことができるように、Bが名前を言えるCを次の工程の担当とする。</p> <p>間 活動に集中できるように、入口が見えない窓の方を向いて活動する。</p> <p>直 友達の呼びかけに応じられるように、Aが近づいてきたらT3は「Aさんが来たよ」と言葉をかけたり、体に触れて知らせたりしてAに注目できるようにする。</p> <p>直 今日のためあてを意識できるように、T3はチェック表を使って8枚作ることAと一緒に数える。</p> <p>間 誰にプレゼントするものを作っているか分かるように、チェック表には相手の顔写真を付け、枠の色と似顔絵カードの用紙の色を合わせる。</p> <p>間 自分から名前を呼ぶことができるように、Bが名前を言えるCを次の工程の担当とする。</p> <p>間 活動に集中できるように、入口が見えない窓の方を向いて活動する。</p> <p>直 友達の呼びかけに応じられるように、Aが近づいてきたらT3は「Aさんが来たよ」と言葉をかけたり、体に触れて知らせたりしてAに注目できるようにする。</p> <p>直 今日のためあてを意識できるように、T3はチェック表を使って8枚作ることAと一緒に数える。</p> <p>間 誰にプレゼントするものを作っているか分かるように、チェック表には相手の顔写真を付け、枠の色と似顔絵カードの用紙の色を合わせる。</p> <p>間 自分から名前を呼ぶことができるように、Bが名前を言えるCを次の工程の担当とする。</p> <p>間 活動に集中できるように、入口が見えない窓の方を向いて活動する。</p> <p>直 友達の呼びかけに応じられるように、Aが近づいてきたらT3は「Aさんが来たよ」と言葉をかけたり、体に触れて知らせたりしてAに注目できるようにする。</p> <p>直 今日のためあてを意識できるように、T3はチェック表を使って8枚作ることAと一緒に数える。</p> <p>間 誰にプレゼントするものを作っているか分かるように、チェック表には相手の顔写真を付け、枠の色と似顔絵カードの用紙の色を合わせる。</p> <p>間 自分から名前を呼ぶことができるように、Bが名前を言えるCを次の工程の担当とする。</p> <p>間 活動に集中できるように、入口が見えない窓の方を向いて活動する。</p> <p>直 友達の呼びかけに応じられるように、Aが近づいてきたらT3は「Aさんが来たよ」と言葉をかけたり、体に触れて知らせたりしてAに注目できるようにする。</p> <p>間 自分たちで活動場所の準備ができるように、T3とT4が白テーブルを設置する場所に立ち、T1がそれぞれのTの位置に「友達と一緒に運んでね」と伝える。</p> <p>間 生徒同士で準備できるように、道具を入れておくカラーボックスを固定して、生徒の顔写真や名前を貼る。</p> <p>直 望ましい伝え方ができるように、不適切な伝え方があったときは、教師が望ましい伝え方を示し、一緒に話してみる。</p> <p>間 生徒同士が何度も関わることをできるように、必要な枚数より多くの似顔絵カードやシールを制作する。また、1~2枚ごとに次の友達に渡す機会を設定する。</p> <p>直 今日のためあてを意識できるように、好きな演歌歌手の写真がついたキャップを印刷する数と同じ8個用意し、一枚印刷する毎に、箆から移動することを事前に伝える。</p> <p>直 今日のためあてを意識できるように、プリントゴッコを押せるように、プリントゴッコに好きな演歌歌手の写真を作り、T3は「ふたばゆりこ」の言葉と一緒に押す身振りを示す。</p> <p>間 自分から名前を呼ぶことができるように、Bが名前を言えるCを次の工程の担当とする。</p> <p>間 活動に集中できるように、入口が見えない窓の方を向いて活動する。</p> <p>直 友達の呼びかけに応じられるように、Aが近づいてきたらT3は「Aさんが来たよ」と言葉をかけたり、体に触れて知らせたりしてAに注目できるようにする。</p> <p>直 今日のためあてを意識できるように、T3はチェック表を使って8枚作ることAと一緒に数える。</p> <p>間 誰にプレゼントするものを作っているか分かるように、チェック表には相手の顔写真を付け、枠の色と似顔絵カードの用紙の色を合わせる。</p> <p>間 自分から名前を呼ぶことができるように、Bが名前を言えるCを次の工程の担当とする。</p> <p>間 活動に集中できるように、入口が見えない窓の方を向いて活動する。</p> <p>直 友達の呼びかけに応じられるように、Aが近づいてきたらT3は「Aさんが来たよ」と言葉をかけたり、体に触れて知らせたりしてAに注目できるようにする。</p> <p>直 今日のためあてを意識できるように、T3はチェック表を使って8枚作ることAと一緒に数える。</p> <p>間 誰にプレゼントするものを作っているか分かるように、チェック表には相手の顔写真を付け、枠の色と似顔絵カードの用紙の色を合わせる。</p> <p>間 自分から名前を呼ぶことができるように、Bが名前を言えるCを次の工程の担当とする。</p> <p>間 活動に集中できるように、入口が見えない窓の方を向いて活動する。</p> <p>直 友達の呼びかけに応じられるように、Aが近づいてきたらT3は「Aさんが来たよ」と言葉をかけたり、体に触れて知らせたりしてAに注目できるようにする。</p>						プリントゴッコ*2 ラジカセ カセットテープ スイッチ 箆 カード用紙 シール用紙 洗濯ばさみ ハンガーラック チェック表 はさみ
7分	4 本時の成果を発表する。 (1) グループの本時の成果を発表する。 (2) プレゼントの準備がどれくらいできたか確認する。	<p>直 めあてが達成された喜びを味わうことができるように、「できた」など歓声が上がったときには共感する言葉をかけ、称賛する。</p> <p>間 生徒同士で協力して片付けられるように、カラーボックスに道具の写真を貼っておく。</p> <p>間 相手のグループの発表を意識して聞けるように、白テーブルを付けて、対面して座る。また、話す人の方を見るよう促す。</p> <p>直 お互いの頑張りを視覚的に確認できるように、本時完成した実物を発表者の隣に置く。</p> <p>直 自分の頑張りを紹介できるように、ハンガーラックをDのそばに置く。また、T4はめあてを振り返られるように「誰と一緒に印刷したの」と聞く。</p> <p>直 印刷する活動を発表できるように、プリントゴッコを用意して、「Eさん、押すよ」と言葉をかける。</p> <p>間 一人で発表できるように、事前にグループの友達の活動名を記入できる穴埋め式のワークシートを用意する。</p> <p>間 一人でも「Eさん」と呼べるようにT1は友達の方を注目させ、「Eさんと呼んでみよう」と言葉をかける。</p> <p>間 一人でシールを切ることができるように、プリントゴッコの版に切り取り線を入れておく。</p>						
3分	5 あいさつをする。	<p>直 視覚的にプレゼントの準備状況を確認して、達成感を味わうことができるように、プレゼントの準備物一覧表を提示し、Bに完成シールを貼ってもらう。</p> <p>直 次の活動に期待をもてるように、次時に取り組む調理のストーリーカードを提示して説明する。</p> <p>間 本時の活動が終わったことが分かるように、授業終了後にEがT4と一緒に全員のバンダナを回収する。</p>						
本時の個別目標の評価								

(2) 配置図

①活動 1、2



②活動 3、4、5



わかる姿	生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやることが分かり、自分から似顔絵カードやシールの製作に向かうことができたか。 ・友達の前に行き、言葉をかけたり、声のする方を向いたりしてから、関わることができたか。
	教師	<input checked="" type="checkbox"/> 学習活動へ意欲的に向かうための言葉がけや教材提示ができていたか。 <input type="checkbox"/> 生徒同士がコミュニケーションをとりながら活動する場面の設定や教材が用意されていたか。